

長野県革新懇ニュース

2018年8月号
発行日8月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 0510-3-15971

231

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人：山口光昭 編集長：高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL：026-234-1231 FAX：026-234-2219 メール：mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 具志堅進さんインタビュー
- 2面 1面続き、近現代信州の歴史回廊 清水たか子さん
- 3面 50年以上にわたる野尻湖発掘調査 花岡邦明さん
読者の声
- 4面 随筆『雨よ降れ』『文化』って何? 窪島誠一郎さん
映画評論『マルクス・エンゲルス』内山到さん
漢字パズル

長野県革新懇

検索



1954年10月6日沖縄県那覇市生まれ。1980年、東北大学医学部卒業。1980年、明和会中通病院入職(1990年退職)。1990年、中信勤医協松本協立病院入職。2000年、副院長就任(2002年退任)。2002年、院長就任(2018年退任)。2018年、社会医療法人中信勤労者医療協会理事長就任。

日本の民主主義が

問われる沖縄基地問題

具志堅 進さん

(社会医療法人中信勤労者医療協会理事長)

秋田から松本に

Q 沖縄のご出身とのことですが、まずは松本にいられた経緯をお聞かせ下さい。

こちらに来る前は、秋田市の中通病院で10年間ほど外科をやっていました。その頃、調べ事で中通病院に来ていた松本協立病院の山崎先生から外科をつくりたいので来てくれないかというお誘いがありました。当時、松本に帰るかと考えていたもので、一旦はお断りしました。沖縄については、先輩から誘われていたので、現地を見学して決めることにしたんです。現地を案内してもらいましたが、自宅予定地も基地に隣接していて、そのフェンスがずうっと続いているような場所でした。ちょうど息子が

小学校に上がる頃だったのですが、環境的にはどうかという思いがあったものです。率直なところ、そのことについては逃げたのではないかといい、今でも引つかりがります。そんな経緯で、以前に誘われた松本に来るようになったわけです。

祖国復帰に向けて米軍基地は増加

Q 沖縄戦で犠牲になられたご親族もおられると思いますが、沖縄戦や沖縄の現状についてどのようにお考えですか？

私の関係でいえば、父親の弟は兵隊で命を落としました。が、家族や叔父、叔母などの範囲では沖縄戦そのもので亡くなった人はいません。沖縄戦の経過については、米軍の上陸により戦力が南北に分断され、ついに首里の司令部が持ちこたえられなくなり、南部に移動したわけです。本来はこの時点で降伏すればよかったのですが、それをしなかった。沖縄戦で亡くなった方のほとんどは、負け戦とわかった以降の方です。なぜそんなことをしたのかといえ、沖縄を守るのではなく、日本本土への攻撃を遅らせるためだけだった。南部で亡くなった方々は本土決戦を長引かせるための犠牲だったわけですね。その背景には本土が沖縄を蔑視あるいは差別していたことが根本にあると思います。

戦後においても、沖縄を日本から切はなしアメリカの占領下に置くことにあまり心が

痛まなかったのではないのでしょうか。同胞との気持ちがあれば心は痛みますが、あまりその意識はなかった。それは、今の基地問題ともつながっていると思います。

占領当時は日本の国土ではありません。基地問題については大きな制約があったと思います。しかし、日本に復帰してからも事態は一向に変わりませんでした。むしろ、祖国復帰の頃まで沖縄の基地は増えていったのが実態です。先日、高校生に話す機会があったので、「米軍専用施設面積の推移」という資料(右下図)を紹介しました。沖縄と日本本土の米軍基地面積の推移をそれぞれ実線と点線で示してあります。戦争直後は本土の米軍基地は多かったのですが、60年安保、70年安保を契機にそれらは返還されましたが、その分は沖縄に移されたと言えます。

沖縄の基地がなぜ減らないのかということですが、アメリカは、海兵隊を沖縄から出していい、日本国内に移してもいい、何回か提案しているんですが、その度に日本政府は反対しています。基地が減らないのは、アメリカのせいだけではなく、日本政府の姿勢も大きく影響しています。米軍基地が沖縄から本土に移ると、「日米安保をなくせ」という世論が大きくなりますから、それを恐れて沖縄に押し付けているという状況です。そこで問われるのが世論の在り方だと思います。政府のそういう姿勢に対して黙認するのではなく、それを正していく世論形成がどうして必要だと思えます。沖縄の基地問題は反戦平和の問題

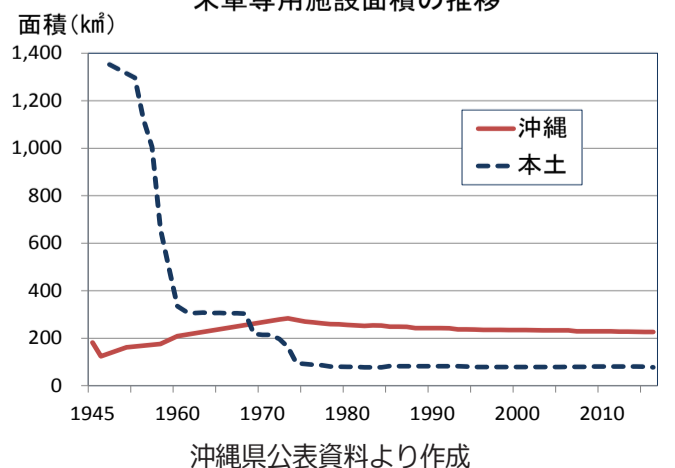
であると同時に民主主義の問題だと思っています。沖縄は日本国憲法のもとに復帰したわけですから、憲法が保障する民主主義や諸権利が当然適用されなければならぬわけですね。しかし、基地ということでは、それがなされていないにすぎないと思います。その意味で日本の民主主義が問われているのではないのでしょうか。

少数者に向き合う高い民主主義が必要

Q オール沖縄や辺野古基地をめぐる動きについてはどのようにお考えですか？

一時は文字通り多くの県民が一致してオール沖縄の流れができたんですが、ここにきてそれが分断されてしまったわけですね。その理由の一つは安保条約に対するスタンスで、安保を肯定している人々にとつて基地はどこかに必要だと思いがちであり、もう一方は安保反対ですから、そこに亀裂ができてしまったと思います。だから、基地は仕方がないという人たちに、反戦、反安保というスタンスではなく、これは人権と民主主義の問題だと訴えることができないかどうか問われているのではないのでしょうか。それができると、また形が変わると思います。以前一致していたの

米軍専用施設面積の推移



沖縄県公表資料より作成

【2面に続く】